

第1号議案

令和4年度事業報告書

1. 会員

令和4年度末会員数

項目	令和4年3月31日現在	令和5年3月31日現在	退会	入会
正会員 (A) 会員	111	108	▲3	0
正会員 (B) 会員	72	71	▲1	0
正会員 (C) 会員	4	4	0	0
合計	187	183	▲4	0

退会した会員

A 会員 コモタ(株) (株)福田計器製作所 (有)東京セールズ
 B 会員 (株)大一喜久屋商店

2. 役員・顧問及び事務局

(1) 令和4年度末における役員は次のとおりである。

会長	小川 弘	(株)三光精衡所 会長
副会長	横山 守二	(株)東亜計器製作所 社長
〃	蓮井 康二	(株)ニシベ計器製造所 社長
専務理事	堀井 茂	一般社団法人 東京都計量協会
理事	石井 康二	一般社団法人 計量器コンサルタント協会 会長
〃	伊藤 信男	一般社団法人 東京都計量協会 事務局長
〃	井上 幸輝	(株)タニタ 取締役
〃	大森 規雄	共栄衡器(株) 社長
〃	小林 悌二	東京計量士会 会長
〃	近藤 正孝	(株)三友産業社 社長
〃	坂本 慎介	新光電子(株) 社長
〃	清宮 貞雄	日本ダイナマット(株) 社長
〃	高松 宏之	(株)日本計量新報社 編集部長
〃	奈良 広一	長野計器(株) 技術顧問
〃	浜田 鉄平	(株)協立商会 社長
〃	三田村 義崇	日本計量器工業(株) 社長
〃	三島 宏法	(株)タツノ 東京支店次長
〃	森島 泰信	(株)エー・アンド・ディ 社長
〃	山本 信太郎	山本計器製造(株) 会長

〃	山本浩之	計量管理研究部会	部会長
〃	横田賢亮	(株)横田計器製作所	社長
〃	渡部洋士	(株)渡部計器製作所	社長
〃	和田俊之	(株)寺岡精工	知的財産規格部課長
監事	大原誠	(株)大原計機製作所	社長
〃	八木佑幸	新日本度量衡器(株)	社長
〃	山口精一	(株)ワーク衡業	社長

(2) 事務局（常勤役員、契約職員を含め40名）

専務理事 堀井 茂
 理事・事務局長 伊藤 信男
 総務部 3名
 計量管理事業部 10名
 指定定期検査機関部 12名
 タクシーメーター検査場（港南・深川）13名

3. 会議

(1) 令和4年度定時総会（令和4年6月3日（金）於 ホテルグランドヒル市ヶ谷）

- 第1号議案 令和3年度事業報告書承認の件
- 第2号議案 令和3年度決算報告書承認の件
- 第3号議案 補欠のための理事の選任について
- 報告事項1. 令和4年度事業計画書について
- 報告事項2. 令和4年度収支予算書について

(2) 理事会

第1回理事会（令和4年5月20日（金）於 東京都計量検定所及びWeb）

- 1. 令和3年度事業報告書（案）について
- 2. 令和3年度決算報告書（案）について
- 3. 補欠のための理事の選任について
- 4. 職員退職金規程の改定について

第2回理事会（令和4年10月14日（金）於 東京都計量検定所）

- 1. 令和4年度関東甲信越計量団体連絡協議会について
- 2. 令和4年度「都民計量のひろば2022」実施について
- 3. 令和4年度「計量記念日のつどい」開催について
- 4. 令和4年度「出前計量教室」の実施について
- 5. 令和5年「新年賀詞交歓会」の開催について

第3回理事会（令和5年1月13日（金）於 ホテルグランドヒル市ヶ谷）

1. 令和4年度関東甲信越計量団体連絡協議会「さいたま大会」開催結果について
2. 令和4年度「計量記念日のつどい」開催結果について
3. 令和4年度事業の進捗状況について

第4回理事会（令和5年3月24日（金）於 計機健保会館）

1. 令和5年度事業計画書（案）審議承認の件
2. 令和5年度収支予算書（案）審議承認の件
3. 令和5年度定時総会、理事会等の開催について
4. 都民計量のひろば2022開催結果について
5. 出前計量教室令和5年度事業について
6. その他
 - （1）公益目的支出計画の実施完了について
 - （2）任期満了に伴う役員改選について

（3）運営委員会

第1回運営委員会（令和4年5月10日（火）於 東京都計量検定所及び Web）

1. 令和3年度事業報告書（案）について
2. 令和3年度決算報告書（案）について
3. 補欠のための理事選任について
4. 組織規程（旧処務規程）の改定について

第2回運営委員会（令和4年9月13日（火）於 東京都計量検定所）

1. 令和4年度関東甲信越計量団体連絡協議会について
 - （1）関東甲信越計量団体連絡協議会組織体制について
 - （2）さいたま大会の開催について
2. 令和4年度「都民計量のひろば2022」について
3. 令和4年度「計量記念日のつどい」表彰候補者について
4. 令和4年度「出前計量教室」の実施について

第3回運営委員会（令和5年2月14日（火）於 計機健保会館）

1. 令和5年度事業計画書（案）について
2. 令和5年度収支予算書（案）について
3. 令和5年度定時総会、理事会等の開催について
4. その他
 - （1）公益目的支出計画の実施完了について
 - （2）任期満了に伴う役員改選について

(4) 正副会長及び常勤役員会議

- 第1回 (令和4年8月4日 (木) 於 ホテルグランドヒル市ヶ谷)
- 第2回 (令和4年8月23日 (火) 於 東京都計量協会)
- 第3回 (令和4年10月14日 (金) 於 東京都計量協会)
- 第4回 (令和4年12月15日 (木) 於 計機健保会館)
- 第5回 (令和5年1月11日 (火) 於 グランドアーク半蔵門)
- 第6回 (令和5年3月16日 (木) 於 東京都計量協会)

(5) 計量記念日のつどい

- 日 時 令和4年11月11日 (金) 15時～19時
- 場 所 ホテルグランドヒル市ヶ谷
- 次 第 会長式辞
来賓祝辞
感謝状・表彰状贈呈
受賞者謝辞
祝賀パーティ
会員企業と職員との交流会

(6) 新年賀詞交歓会

- 日 時 令和5年1月13日 (金) 17時～19時
- 場 所 ホテルグランドヒル市ヶ谷
- 次 第 会長年頭のごあいさつ
来賓祝辞
乾杯

(7) 計量管理研究部会

- 部会総会 (令和4年5月24日 (火) 於 東京都計量検定所)
 1. 令和3年度事業報告について
 2. 令和3年度収支決算について
 3. 令和4年度事業計画 (案) について
 4. 令和4年度収支予算 (案) について
 5. 役員選任について

監査会 (令和4年4月26日 (火) E-mailで実施)

運営会議

- 第1回運営会議 (令和4年4月26日 (火) 於 東京都計量検定所)
 1. 令和3年度第5回運営会議の議事録確認

2. 令和4年度部会総会・議案書の検討
 3. 監査実施について
 4. 令和4年度適正計量管理主任者養成講習会（生産）開催について
 5. 東京都からのお知らせ
- 第2回運営会議（令和4年6月24日（金）於 東京都計量協会及びオンライン）
1. 第1回運営会議議事録確認
 2. 令和4年度適正計量管理主任者養成講習会（生産）開催について
 3. 東京都計量検定所からのお知らせ
 4. 計量記念日関係 部会功労者表彰の推薦について
- 第3回運営会議（令和4年9月2日（金）於 東京都計量検定所）
1. 第2回運営会議議事録確認
 2. 計量記念日事業 Web 版「2022 都民計量のひろば」参加について
 3. 計量管理強調月間「標語」選考・審査について
 4. 計量記念日功労者表彰の推薦について（部会関係者）
 5. 東京都計量検定所からのお知らせ
- 第4回運営会議（E-mail 令和4年12月2日（金）～9日（金））
1. 第3回運営会議議事録確認
 2. 適正計量管理主任者養成講習会（流通関係）について
 3. 令和4年度「東京都との意見交換会」について
 4. 東京都計量検定所からのお知らせ
- 第5回運営会議（令和5年3月3日（金）於 東京都計量検定所）
1. 第4回運営会議議事録確認
 2. 令和4年度事業活動のまとめ
 3. 令和5年度事業活動方針の骨格について
 4. 適正計量管理主任者養成講習会 2018 版テキストの改版について
 5. 東京都計量検定所からのお知らせ

(8) タクシーメーター部会

- 第1回タクシーメーター部会（令和4年8月24日（水）於 東京都計量検定所）
1. 部会長の選任について
 2. 今後の活動計画について
 3. 意見交換
 4. 東京都計量検定所からのお願いと情報交換
 - (1) 装置検査申請
 - (2) 装置検査実施方法
 - (3) タクシーメーターの装置検査済証の交付について

第2回タクシーメーター部会（令和5年2月3日（金）於 東京都計量検定所）

1. 検定の実施方法に係る情報交換
2. 最近の検定実績の推移とタクシー業界の動向について
3. 東京都計量検定所からのお願いと情報交換

第1回部会役員会（令和4年10月19日（木）於 東京都計量検定所）

1. 令和4～5年度の役員について
2. 事業計画について
 - （1）部会のネットワークを活用した情報共有化
 - （2）トラブルの情報共有
 - （3）トラブルシューティングの作成
3. 今後のスケジュールについて

（9）ジュニア計量学校打ち合わせ会議

第1回打ち合わせ会議（令和5年2月20日（月）於 東京都計量検定所）

1. 今後の事業実施について
2. 今年度の実施内容、スケジュール、役割分担について

第2回打ち合わせ会議（令和5年3月10日（金）於 お茶の水女子大学附属小学校）

1. 今後の事業計画について
2. 今年度の実施内容、スケジュール、役割分担について
3. 今後の予定

（10）出前計量教室意見交換会（令和5年3月22日（水）於 東京都計量検定所）

1. 令和4年度出前計量教室の実施状況
2. 意見交換
 - （1）令和4年度を振り返って
 - （2）令和5年度の実施に向けて

（11）指定定期検査機関等連絡会議

第1回連絡会議（令和4年9月27日（火）於 東京都計量検定所）

1. 開会挨拶
2. 付議内容の説明
 - （1）円滑な検査の実施に向けた情報の交換
 - （2）適正な検査の遂行に向けた課題の整理と対応
 - （3）その他検査の実施について、必要な事項
3. 質疑・応答

第2回連絡会議（令和5年3月16日（木） 於 東京都計量検定所）

1. 開会挨拶
2. 付議内容の説明
 - (1) 円滑な検査の実施に向けた情報の交換
 - (2) 適正な検査の遂行に向けた課題の整理と対応
 - (3) その他検査の実施について、必要な事項
3. 質疑・応答

(12) 関東甲信越計量団体連絡協議会関係

さいたま大会の開催

開催日時 令和4年10月28日（金）13時30分～19時40分

場 所 ホテルブリランテ武蔵野（さいたま市中央区新都心）

協議会（13時30分～15時30分）

1. 新団体設立宣言
2. 会務・会計報告及び監査報告
3. 提案議題に係る審議
4. 指定検定機関の現況報告

感謝状及び記念品贈呈式（15時40分～16時）

記念講演（16時20分～17時20分）

演題 渋沢栄一の近代産業育成 ～「忠恕」と「公益」～

講師 渋沢栄一記念館 資料解説員 河田 重三氏

懇親会（17時40分～19時40分）

代表者会議の開催

第2回代表者会議（旧組織）（令和4年7月1日（金） 於 日本教育会館）

1. 構成会員、団体代表者名簿の確認
2. 新たな連絡協議会体制について
3. 令和4年度関プロ「さいたま大会」の開催に向けた準備について

第1回代表者会議（新組織）（令和4年9月9日（金） 於 計機健保会館）

1. 代表者の選任届け出結果について
2. 新組織発足に伴う検討事項について
 - (1) 役員の選任（会長、副会長、監事）
 - (2) 旧組織から新組織への移行について
3. 令和4年度事業計画書（案）・収支予算書（案）について
4. 埼玉大会の開催に向けた準備について

第2回代表者会議（新組織）（令和5年2月17日（金）於 計機健保会館）

1. さいたま大会の開催結果概要について
 2. さいたま大会の決算報告について
 3. さいたま大会で課題となった指摘事項への対応について
 4. 長野大会の開催（案）について
 5. 令和5年度事業のスケジュール（案）について
 6. 令和4年度事務担当者会議の開催について
 7. その他
- (1) 正副会長の役員就任期間の始期と終期の決定

運営委員会の開催

第3回運営委員会（令和4年7月1日（月）於 日本教育会館）

1. 第2回委員会議事録の確認について
2. 代表者会議に提出する報告書内容について

事務担当者会議の開催

日 時 令和5年3月2日（木）～3日（金）

場 所 ホテルレイクビュー水戸

1. 開催県あいさつ
2. 日本計量振興協会からの情報提供

事務局長会議 ・財政健全化へ向けての増収対策（タクシー装置検査の受託）
・情報交換／代検等の土日・祝祭日実施の有無

事務担当者会議・インボイス制度への事務対応について
・情報交換／労働災害の上乗せ保険の加入について

4. 普及・啓発事業

4-1. 計量に関する知識の普及、啓発事業

計量思想の普及・啓発、及び計量法の周知等を目的に次の資料を作成、又は入手して有効的に配布した。

- ① 計量記念日ポスター 800枚
- ② 計量管理強調月間標語・優秀作品2点を短冊にして各300部を作成
- ③ 広報誌「とうきょうの計量」発行

会員への協会活動報告を目的に、年6回、日本計量新報社の協力を得て、同誌の紙面に専用広報ページ「とうきょうの計量」を設け、理事会、部会等の活動報告、法定計量に係る情報提供、行政からのお知らせ等を編集・掲載し、全会員に配布している。

編集は、東京都計量検定所、(株)日本計量新報社等の協力を得て委員会を設け編集を

行っている。

なお、同紙面内容は協会のホームページでも閲覧可能としている。

発行日 No.284号 令和4年4月24日
No.285号 令和4年6月26日
No.286号 令和4年8月21日
No.287号 令和4年10月16日
No.288号 令和4年12月11日
No.289号 令和5年2月19日

編集委員（本会関係者）

石井 康二 奈良 広一 田中 正憲 横山 守二
高松 宏之 堀井 茂 伊藤 信男 竹添 雅雄

4-2. 出前計量教室

小学校における計量関係の学習を支援するため、東京都計量検定所のリーダーシップの下、出前計量教室を実施している。

本事業は、東京都計量検定所、（一社）東京都計量協会、東京計量士会、（一社）計量器コンサルタント協会、日本硝子計量器工業協同組合が実施に関する協定を結び、次の役割分担に基づき運営している。

- ・東京都計量検定所：総合調整、小学校への周知・申込受付、教材等の調達・運搬、講師の派遣
- ・（一社）東京都計量協会：講師派遣に係る経費負担
- ・東京計量士会・（一社）計量器コンサルタント協会：講師の派遣
- ・日本硝子計量器工業協同組合：教材の調達・運搬、講師の派遣

令和3年度は新型コロナウイルスを取り巻く環境が改善せず、5校から申込があったものの感染拡大防止の観点から中止した。

令和4年度についてはコロナ感染症対策を講じつつ次のとおり実施した。

(1) 実施状況

実施校数	10校
児童数	591名

(2) 内容別

内容	実施校数	実施会場	児童数
① 棒はかりをつくろう	5校	8会場	318名
② いろいろな温度をはかろう	4校	7会場	221名
③ 計量単位のはなし	1校	1会場	52名

(3) 実施詳細

日時	学校名	会場数	児童		内容
			学年	数	
6月28日 10:40~12:15	板橋区 上板橋第二	2	4	53	いろいろな温度をはかるう
7月12日 10:45~12:20	調布市 国領	1	5	52	計量単位のはなし
7月14日 10:40~12:15	北区 王子第二	2	4	50	いろいろな温度をはかるう
12月1日 10:35~12:10	多摩市 西落合	2	6	88	棒はかりをつくろう
12月6日 13:30~15:05	江東区 第二大島	1	6	43	棒はかりをつくろう
1月20日 10:50~12:25	新宿区 四谷	2	6	66	棒はかりをつくろう
1月26日 10:40~12:15	杉並区 富士見丘	2	6	68	棒はかりをつくろう
1月31日 10:40~12:15	豊島区 清和	2	4	64	いろいろな温度をはかるう
2月9日 13:40~15:05	葛飾区 川端	1	6	53	棒はかりをつくろう
3月3日 13:30~15:15	葛飾区 綾南	1	5	54	いろいろな温度をはかるう

4-3. ジュニア計量学校

子供たちは計量を知識として知っていても、日常生活の中で実感し考える機会が少ないこと、出前計量教室の実施校から、計量に関する授業の指導補助になるような教材の提供を要望する声があることから、子供たちが授業の中で計量に関する体験を通し、生活や学習に活用しようとする態度を養うことのできる学習プログラムを提案し、教員に授業で活用してもらうことを目的に行う事業である。

事業は、東京都計量検定所、お茶の水女子大学附属小学校及び（一社）東京都計量協会との三者連携事業とし、それぞれの役割分担の下に実施に向けた準備を進めている。当協会は、学習用はかりの提供、教員からの相談対応、本事業に係るホームページの作成を担当する。

今後は、はかりの貸出、相談受付体制等の確立、はかりの使い方や豆知識等の付属資料の作成、学校へ提供する資料一式を東京都教育庁に最終確認したうえ、令和5年11月頃を目途に本事業を紹介するホームページを、お茶の水女子大学、東京都計量検定所、当協会に立ち上げ、実施に向けた働きかけを関係者に行うこととした。

対象 都内公立小学校3年生指導教員

内容 小学校学習指導要領算数編に従い、第3学年の「重さ」の単元について指導

計画、及びその1コマに「はかりを使用した授業」を展開する

4-4. 計量記念日に関する事業の実施

4-4-1. 都民計量のひろばの実施

都民の方々に楽しみながら計量制度への理解を深めてもらうことを目的に、11月1日の計量記念日に東京都計量検定所等と共催で「都民計量のひろば」を開催してきている。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和3年度に引き続きイベント形式での開催を自粛し、当協会のホームページ上に「Web版都民計量のひろば2022」を開設して実施した。

今年度は「くらしと計量」をメインテーマに、また「探してみよう！くらしの中のいろんな計量」をサブテーマに開催している。

事業は東京都計量検定所、計量関係団体、企業等から構成される実行委員会を組織し、次のとおり様々な催しを実施し、大きな成果を挙げている。本会も実行委員会の一員として積極的に協力するとともに、実行委員会事務局を引き受け事業全体のサポートに当たった。

(1) 都民計量のひろば2022開催概要

1. 事業名 都民計量のひろば2022

2. 趣 旨

計量制度は私たちの社会生活や経済活動において、貨幣制度とともに欠くことのできない基本的な制度です。この制度の適切な運用は都民生活を守り、わが国の経済や文化の向上を実現するために極めて重要なこととなります。国際化や技術革新への対応、消費者利益の確保という視点から全面改正された新計量法は、平成5年11月1日の施行後、順調に定着化していますが、計量制度そのものは、十分認識されているとはいえない状況にあります。そこで、当実行委員会では都民の方々に楽しみながら計量制度への理解を深めてもらうことを目的に、毎年イベント形式で都民計量のひろばを開催しています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に引き続きイベント形式での開催を自粛し、一般社団法人東京都計量協会のホームページ上に「Web版都民計量のひろば2022」を開設して実施しました。

3. テーマ

メインテーマ 「くらしと計量」

サブテーマ 「探してみよう！くらしの中のいろんな計量」

4. 特設ページ公開期間

令和4年10月16日（日）～12月15日（木）の2ヶ月間

5. 特設ページ開設場所

一般社団法人 東京都計量協会のホームページ内

6. 主 催

都民計量のひろば実行委員会

<構成18機関・団体>

東京都生活文化スポーツ局計量検定所	東京都水道局		
(一社)東京都計量協会	東京計量士会		
日本硝子計量器工業協同組合	(一社)計量器コンサルタント協会		
東京都環境計量協議会	(一社)東京科学機器協会		
東京都計量証明事業協会	(一社)日本海事検定協会		
日本ガスメーター工業会関東支部	(一社)日本計量振興協会		
日本電気計器検定所	(一財)日本穀物検定協会関東支部		
(株)イシダ	(株)タニタ	(株)寺岡精工	(株)松屋

7. 特設ページ概要

都民に楽しみながら計量制度を身近に感じてもらうという記念日イベントのコンセプトを守り「くらしと計量」をメインテーマに「探してみよう!くらしの中のいろんな計量」をサブテーマに特設ページを設けました。

1) 計量記念日行事について

- ア 計量記念日ポスター(経済産業省版)
- イ 一般社団法人日本計量振興協会主催の記念日行事
- ウ 東京都計量検定所の記念日企画
- エ 計量行政について
- オ 令和元年度の「都民計量のひろば」の様子

2) 健康と計量のコーナー

- ア 家庭用計量器の正しい使い方
- イ 体重計の不思議
- ウ パンダの身体測定
- エ 体温計と血圧計
- オ 電子体温計の正しい使い方
- カ 血圧計の正しい使い方
- キ パルスオキシメーターって?
- ク BMI とメタボリックシンドロームって?
- ケ 視力検査の基準は?
- コ 肌年齢を簡単に調べるには?

3) ライフラインと計量のコーナー

- ア 水道・ガス・電気メーターの検定の有効期間
- イ 子メーターについて
- ウ 水道と計量
- エ ガスと計量
- オ 電気と計量

4) 環境と計量のコーナー

- ア 計量証明と計量証明事業者制度

- イ 環境と計量
 - ウ 海洋汚染防止(海洋プラスチックごみ)
 - エ 地球温暖化防止(脱炭素社会に向けて)
 - オ 気象変動の影響(水災害問題)
 - 5) / 食品と計量のコーナー
 - ア 栄養成分表示の測定
 - イ 自動はかりの紹介
 - ウ お米の検査
 - エ 食品の正しい計量のための東京都の取り組み
 - 6) 計量資料展示のコーナー
 - ア 1メートルのはじまり
 - イ 1キログラムのはじまり
 - ウ 長さをはかる
 - エ 東京都の計量行政の歴史
 - オ 計量展示室の計量器(カレンダーになった計量器)
 - 7) 計量マジックのコーナー
 - ア 令和4年度計量記念日の「計量マジック」紹介
 - 8) 暮らしの中の計量コーナー
 - ア 日本最初のガラス製寒暖計の製作
 - イ ビールびんも計量器って本当
 - ウ 容量線入り(目盛付き正量)ガラスの紹介
 - エ 適正計量管理事業所の紹介
 - オ 船積み荷物の計量
 - 9) 計量雑学のコーナー
 - ア 計量クイズ
 - イ 「はかる」のいろいろ
 - ウ 数え方図鑑
 - エ 計量単位の由来いろいろ
 - オ 人を裁くはかり
 - 10) クイズラリーとアンケートのコーナー
 - ア クイズラリー
 - イ アンケート
8. 広報・周知
- 都民に広く記念日行事を周知するため、広報チラシを作成するとともに、次のとおりさまざまな媒体を活用して周知を図りました。

	利用媒体	掲載日時	備考
1	都庁HP、生文HPプレス資料掲載	9月27日	
2	東京都・区市町村消費生活行政情報(10月号)	10月中旬	
3	バナー送付	10月～	実行委員会宛協力依頼
4	東京くらしネット(9・10月号)	8月26日	
5	Twitter、Facebook	期間中3回	実行委員会宛リツイート協力依頼
6	広報東京都11月号	11月1日	
7	とうきょうの計量第287号(計量新報)	10月16日	
8	消費生活展	10月～	チラシ(紙)設置
9	正調取引強調運動通知先	10月	商店街連合会:都(2)、区市町村(5)
10	計量管理強調運動通知先	10月	適正計量管理事業所等100程度
11	くらしフェスタ2022(東京消費生活総合センター)	10月22日	「計量」コーナーで紹介

9. 開催結果

1) Webページ訪問者数

10月16日から12月15日までのWebページへの訪問者数（WP Statistics/Word Pressのfree plugin softで集計）は、約3,000名、各ページ合計の訪問数は11,000名程度でした。

コーナー名	訪問数	コーナー名	訪問数
トップページ	2200	計量マジック	750
健康と計量	1350	くらしの中の計量	700
ライフラインと計量	1000	計量雑学	950
環境と計量	700	クイズとアンケート	1450
食品と計量	700	クイズとアンケート(11/1限定)	350
計量資料展示	800	合計	10,950

日別のアクセス数では11/1が最大で、公開初日の10/16から数日及び第2回のクイズが開始された11/16日から数日の訪問数が高くなっていました。コーナー別では、最もヒット数が多かったのはトップページで、次が「クイズとアンケート」コーナーでした。

* 訪問者の集計値はフリーソフトによるもので、検証を行っていないため正確性は不明

* 訪問者数は、同じ人が複数回同一ページを訪れたとしても1人とカウント。訪問数は単純に同一ページにアクセスした数。

2) 来年度の事業実施に向けた企画(案)

①来年度については実行委員会委員総会において、企画、実施の可否等が決められることになるが、今現在令和5年11月1日(水)に「新宿駅西口広場イベントスペース」を仮予約している。

②「Web版都民計量のひろば」は、西口でのイベント開催の有無にかかわらず、引

き続き開設したいと考えている。

- ③アフターコロナのイベント開催ルールは現状は不明であるが、その時の状況に合わせて一定の対応が必要と考える。

3) 収支決算

収入の部

科目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)
(一社)東京都計量協会分担金	0	0	0
東京都計量検定所分担金	0	0	0
前年度繰越金	351,876	351,876	0
雑収入(銀行利息)	0	2	2
合計	351,876	351,878	2

支出の部

科目	予算額(A)	決算額(B)	差額(A-B)
会議費(設営費)	0	0	0
会場費(使用料)	0	0	0
運営費	0	0	0
測定器借上げ費	0	0	0
通信運搬費	40,000	26,210	13,790
消耗品費(景品・封筒)	20,000	98,075	▲78,075
会議費等	0	0	0
雑費	0	0	0
合計	60,000	124,285	▲64,285

* 差引残高227,593円については、令和5年度に繰り越す。

4-4-2. 計量記念日のつどいの実施

本会では例年、計量強調月間中に計量記念日のつどいを開催し、本会の事業を推進するにあたって特に功績のあった会員代表者、あるいは会員企業に長年勤務し企業の発展、業界の振興に貢献した方に対し顕彰を行ってきている。

令和4年度では、平成23年から令和3年まで会長として協会活動にご尽力いただき大きな功績を残された前会長の清宮貞雄様に感謝状を贈呈するとともに、団体活動、勤務先において大きな業績を挙げられた次の方々が受賞された。

なお、式典には、経済産業大臣表彰、同局長表彰、東京都功労者表彰、同生活文化スポーツ局長感謝状受賞者も出席し、表彰式終了後の記念撮影、祝賀懇親パーティにも入っていただいた。

日 時 令和4年11月11日(金) 15時～19時

場 所 ホテルグランドヒル市ヶ谷(東京都新宿区)

次 第 開式

会長式辞 小川 弘 (一社)東京都計量協会 会長

来賓祝辞 戸澤 互様 東京都計量検定所 所長
 金井 一榮様 (一社)日本計量振興協会 副会長
 受賞者謝辞 横田 賢亮様 (株)横田計器製作所 社長
 (一社)東京都計量協会 理事
 日本硝子計量器工業協同組合 理事

閉式

受賞者 * () 内は推薦団体

感謝状 清宮 貞雄様 (一社)東京都計量協会 前会長
 日本ダイナマツ(株) 代表取締役社長
 会長賞 行木 康明様 ナメキ糧具(株) (計量器コンサルタント協会)
 池上 正夫様 (株)京急ストア (東京計量士会)
 今成 俊雄様 日本計量器工業(株) (日本硝子計量器工業協同組合)
 恵比寿 真様 国際企業(株) (東京計量士会)
 清水 健富様 (一社)東京都計量協会 (東京都計量協会)
 事業所・ゾーンボード製菓(株)様 (計量管理研究部会)

計量管理強調月間「標語」入選作表彰

最優秀賞 福地 しのぶ様 (株)高島屋 総務部法務リスクマネジメント室
 // 恵田 豊様 (株)高島屋 総務部法務リスクマネジメント室
 佳作賞 友澤 一成様 (株)寺岡精工 環境事業部
 長谷部 桂様 森永乳業(株) 東京多摩工場製造部

5. 指定定期検査機関及び指定計量証明検査機関業務について

5-1. 指定定期検査機関による定期検査(計量法第20条第1項)及び指定計量証明検査機関による計量証明検査(同法第117条第1項)の実施

(1) 令和4年度受託費

東京都分 168,106,109円 (小型、中型、大型はかり合計)

八王子市 11,570,826円 (小型、大型はかり合計)

(2) 検査員

担当計量士 永井 洋文 荒川 敬之 高橋 正樹 増山 隆一
 岩瀬 広和

短期計量教習受講者 峯岸 輝夫

計量職員 千葉 英樹 竹内 辰也 古橋 幸二 齋藤 尚貴
 古賀 一彦 上杉 健二

(3) 令和4年度検査実績

令和4年度小型はかり検査報告書

指定定期検査機関
 (一社) 東京都計量協会
 永井 洋文

はかり種別	100kg以下		250kg以下		合計	
	検査数 (倍額)	(不合格) (倍額)	検査数 (倍額)	(不合格) (倍額)	検査数 (倍額)	(不合格) (倍額)
電気抵抗線式	5,392	(3)	1,826	(7)	7,218	(3)
誘電式	1,885	(107)			1,885	(107)
電磁式	1,057	(672)			1,057	(672)
他の電気式	4				4	
電気式台数計	8,338	(782)	1,826	(7)	10,164	(782)
手動てんびん						
等比皿手動	42				42	
棒はかり	23				23	
台手動はかり	201		13		214	
皿手動はかり	169				169	
その他の手動						
ばね式指示	1,431	(1)	30	(1)	1,461	(2)
直線目盛付き	221	(2)			221	(2)
手動指示併用	95				95	
その他の指示						
機械式台数計	2,182	(3)	43	(1)	2,225	(4)
合計	10,520	(782)	1,869	(8)	12,389	(782)

検査手数料
 電気式 16,054,800 円
 機械式 1,068,700 円
 分銅類 26,460 円
 運搬費 375,300 円
 合計 17,525,260 円

	検査数 (不合格)
分銅	684
定量おもり	15
定量増おもり	1,947
分銅類計	2,646

減免費計 175件 62,200 円

業種	検査戸数		
	電気式	機械式	(電/機) 運搬費
01 各種食料品	129	74	(14) 19
02 酒・調味料	12	35	(2)
03 食肉	385	18	(14) 55
04 鮮魚	143	31	(6) 6
05 野菜・果実	155	129	(27) 9
06 菓子・パン	38	50	(4) 1
07 他の飲食物	666	260	(38) 183
08 金物・荒物		5	
09 燃料	1	4	1
10 呉服・寝具		16	
11 鋳物・金属	2	6	6
12 再生資源	9	2	6
13 スーパー	277	2	(1)
14 他の卸小売	18	20	(2) 9
15 食料品製造	70	49	(10) 27
16 他の製造業	32	10	(6) 13
17 貴金属	224	1	1
18 医療・保健	2,574	185	(91) 416
19 福祉施設	878	160	(124) 790
20 運輸・通信	16	6	12
21 金融業	32	4	
22 官公庁施設	9	10	(5) 2
23 学校等	389	162	(81) 314
24 その他	44	66	(12) 11
合計	6,103	1,305	(437) 1,881

	電気式	機械式
検査戸数	6,103	1,305
免除戸数	198	1
不検査戸数	458	176
廃業、移転	130	72
不使用	76	69
休業中	25	23
修理中	8	
新規購入予定	181	7
代検、適管	23	3
その他	15	2
検査台数	10,164	4,871
不合格数	54	4
免除台数	512	2

※分銅類は機械式に含む。

	電気式	機械式
新規戸数	51	10
新規台数	70	18

※検査、免除数の内数

令和4年度中型はかり検査報告書

[検査を行った日数及び事業所数]

検査日数	210日
検査対象戸数	780件
検査戸数	717件
免除戸数	14件
不検査戸数	49件

[業種別事業所数]

各種食料品	15	他の卸小売	0
酒・調味料	3	食料品製造	8
食肉	10	他の製造業	31
鮮魚	71	貴金属	1
野菜・果実	69	医療・保健	225
菓子・パン	0	福祉施設	27
他の飲食料	10	運輸・通信	109
金物・荒物	0	宅配便	17
燃料	12	金融業	0
呉服・寝具	0	官公庁施設	10
鉱物・金属	32	学校等	22
再生資源	49	その他	10
スーパー	0	合計	731

ヤマト運輸 3,603

[手数料、検査用具、運搬費用、及び

検査手数料	8,920,190	費用減免]
運搬費用	519,800	
合計	9,439,990	
費用減免	32件	
戸数	35,600	
手数料等総合計	9,475,590	

[種類別・ひょう量別検査台数、不合格台数及び不合格率]

	2t以下			1t以下			500kg以下			250kg以下			
	検査数(H)	不除	免除	検査数(H)	不除	免除	検査数(H)	不除	免除	検査数(H)	不除	免除	
電気抵抗線式	101	1	6	34	0	4	245	5	10	1319	17	67	
誘電式はかり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の電気	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電気式 合計	101	(0)	1	34	(0)	4	245	(1)	5	10	1,319	(0)	17
台手動はかり	17	0	0	13	0	0	39	0	1	18	1	0	
その他の手動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ばね式指示	1	0	0	2	0	0	7	0	0	15	0	0	
その他の指示	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
機械式 合計	18	(0)	0	15	(0)	0	47	(0)	0	1	33	(0)	1
	100kg以下			合計			合計			総 合 計			
	検査数(H)	不除	免除	検査数(H)	不除	免除	検査数(H)	不除	免除	検査数(H)	不除	免除	
電気抵抗線式	1,416	(3)	22	52	3,115	(4)	45	139	1.44%				
誘電式はかり	128	(23)	0	5	128	(23)	0	5	0.00%	電気式はかり		3,470	
電磁式はかり	227	(198)	0	11	227	(198)	0	11	0.00%	機械式はかり		5,185	
その他の電気	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0.00%	分銅類		839	
電気式 合計	1,771	(224)	22	68	3,470	(225)	45	155	1.30%	検査台数合計(A)		9,494	
手動天びん	1	0	0	1	(0)	0	0	0	0.00%	不合格台数		45	
等比皿手動	11	0	0	11	(0)	0	0	0	0.00%	電気式はかり		63	
棒はかり	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0.00%	分銅類		108	
台手動はかり	22	0	0	109	(0)	1	1	1	0.92%	免除台数		155	
皿手動はかり	16	0	0	16	(0)	0	0	0	0.00%	機械式はかり		67	
その他の手動	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0.00%	分銅類		6	
ばね式指示	4,939	61	66	4,964	(0)	61	66	66	1.23%	免除台数合計(B)		228	
直線目盛	40	0	0	40	(0)	0	0	0	0.00%	総 合 計		9,722	
手動指示併用	43	1	0	43	(0)	1	0	0	2.33%	(A+B)			
その他の指示	0	0	0	1	(0)	0	0	0	0.00%				
機械式 合計	5,072	(0)	62	66	5,185	(0)	63	67	1.22%				
	分銅類			合計			合計			分銅類			
	検査数	不除	免除	検査数	不除	免除	検査数	不除	免除	検査数	不除	免除	
分銅	212	0	0	212	0	0	0	0	0.00%	分銅類		6	
定置おもり	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%	免除台数合計(B)		228	
定置増おもり	627	0	6	627	0	6	6	6	0.00%	総 合 計		9,722	
分銅類 合計	839	0	6	839	0	6	6	6	0.00%				

令和4年度大型はかり検査報告書

4. 業種別事業所数

種類	証明	定期	種類	証明	定期
各種食料品	0	0	他の卸小売	0	0
酒・調味料	0	0	食料品製造	0	0
食肉	0	0	他の製造業	8	16
鮮魚	0	0	貴金属	0	0
野菜・果実	0	0	医療・保健	0	0
菓子・パン	0	0	福祉施設	0	0
他の飲食料	0	0	運輸・通信	0	0
金物・荒物	0	0	宅配便	0	0
燃料	0	0	金融業	0	0
呉服・寝具	0	0	官公庁施設	0	17
鉱物・金属	13	21	学校等	0	0
再生資源	49	54	その他	3	8
スーパー	0	0	合計	73	116

1. 検査を行った日数及び事業所数

	検査日数	検査戸数	免除戸数
計量証明	65	73	0
定期検査	98	116	3
合計	(140)	189	3

* () は実検査日数

2. 計量器の数

	はかりの検査(免除)台数			
	2tを超える計量器		2t以下の計量器	
	検査台数	不合格数	免除台数	免除台数
計量証明	77	1	0	0
定期検査	146	0	5	0
合計	223	1	5	0
分銅類の検査(免除)台数				
	おもり		合計 (B)	
	検査台数	不合格数	免除台数	免除台数
計量証明	0	0	0	0
定期検査	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

総合計

A+B			
検査台数	不合格数	免除台数	免除台数
84	1	0	0
262	0	5	5
346	1	5	5

3. 手数料、検査用具運搬費用及び費用減免

	検査手数料	検査用具運搬費用	合計	費用減免		総合計
				戸数	減免額	
計量証明	¥1,663,360	¥1,576,100	¥3,239,460	0	¥0	¥3,239,460
定期検査	¥2,732,840	¥2,066,900	¥4,799,740	5	¥216,000	¥5,015,740
合計	¥4,396,200	¥3,643,000	¥8,039,200	5	¥216,000	¥8,255,200

令和4年度八王子市定期検査総合集計（小型はかり・中型はかり）

■検査期間(小型)令和4年5月31日～7月8日

八王子市指定定期検査機関
一般社団法人 東京都計量協会

■検査等戸数集計表

訪問戸数内訳	小型班	中型班	合計
検査実施	373	-	373
検査廃業	15	-	15
検査免除のみ	5	-	5
その他	30	-	30
合計	423	-	423

■手数料集計表

(単位:円)

区分	手数料	徴収済額	未納額	
				検査手数料
小型	832,370	832,370	0	
中型	-	-	-	
合計	832,370	832,370	0	
運搬手数料	25,400	25,400	0	
定期検査手数料合計	857,770	857,770	0	
証明手数料	0	0	0	
合計	857,770	857,770	0	

■検査器種別集計表

区分	小型班検査分			中型班検査分			合計		
	検査 個数	不合格 個数	不合格率	検査 個数	不合格 個数	不合格率	検査 個数	不合格 個数	不合格率
電気式はかり	553	1	0.18%				553	1	0.18%
手動てんびん	0	0	0.0%				0	0	0.0%
等比皿手動はかり	0	0	0.0%				0	0	0.0%
棒はかり	1	0	0.0%				1	0	0.0%
その他の手動式はかり	0	0	0.0%				0	0	0.0%
ばね式はかり	252	0	0.0%				252	0	0.0%
手動指示併用はかり	0	0	0.0%				0	0	0.0%
その他の指示はかり	0	0	0.0%				0	0	0.0%
はかりの合計	806	1	0.12%				806	1	0.12%
分銅	157	0	0.0%				157	0	0.0%
定量おもり	0	0	0.0%				0	0	0.0%
定量増おもり	0	0	0.0%				0	0	0.0%
分銅類の合計	157	0	0.0%				157	0	0.0%
総合計	963	1	0.10%				963	1	0.10%

令和4年度八王子市定期検査総合集計（大型はかり）

■検査戸数集計表

	大型	合計
検査対象戸数	26	26
検査免除戸数	1	1
検査実施戸数	26	26
うち手数料免除戸数	1	1

■手数料集計表

(単位：円)

	大型	合計
検査手数料	502,420	502,420
運搬手数料	482,900	482,900
合計	985,320	985,320
証明手数料	3,600	3,600
免除手数料	24,000	24,000

■検査器種別集計表

	大型			合計		
	検査 個数	不合格 個数	不合格率	検査 個数	不合格 個数	不合格率
電気式	28	0	0.0%	28	0	0.0%
機械式はかり	3	0	0.0%	3	0	0.0%
手動てんびん	0	0	-	0	0	-
等比皿手動はかり	0	0	-	0	0	-
棒はかり	0	0	-	0	0	-
その他の手動式はかり	2	0	0.0%	2	0	0.0%
ばね式はかり	1	0	0.0%	1	0	0.0%
手動指示併用はかり	0	0	-	0	0	-
その他の指示はかり	0	0	-	0	0	-
はかりの合計	31	0	0.0%	31	0	0.0%
分銅	0	0	-	0	0	-
定量おもり	0	0	-	0	0	-
定量増おもり	12	0	0.0%	12	0	0.0%
分銅類の合計	12	0	0.0%	12	0	0.0%
総合計	43	0	0.0%	43	0	0.0%

5-2. 定期検査に代わる計量士による検査等（計量法第25条及び第120条）、計量管理業務（同法第127条）並びに計量器検定申請事務の代行の実施

計量士による代検査、適正計量管理事業所の自主検査支援などの計量管理業務の受託事務等を遂行するとともに、令和4年度においても日本郵政グループ各社の計量管理業務を（一社）日本計量振興協会を通じて受託し検査を行った。また、新規事業者への自主検査支援などのPR活動を進めた。

計量管理受託業務の実施

社会のあらゆる分野における適正計量の実施を目指し、かつユーザーの利便を図るため計量士による代行検査、自主検査、及びISO9000認定工場の精度検査等を次のとおり実施した。

(1) 量目検査及び計量管理

スーパー等流通事業におけるはかりの設置状態、零点の調整、計量方法等について適切な指導を行うとともに、適正計量管理事業所及びそれに準じた事業所には量目検査を含む計量管理を実施した。

受託金額 53,275,394 円

検査員	担当計量士	小林 理生	大濱 友章	坂井 秀人
		清水 健富	出崎 隆	
	計量職員	永尾 風	佐藤 亨	

(2) 日本郵便（株）、日本郵政（株）計量管理業務の受託実績

東京支社管内の郵便局（普通局、特定局等）の窓口用はかり、証紙発行器用はかり、集荷用はかり、検査用分銅の検査、及び日本郵政（株）の管理下にある健康管理センター、病院等の計量管理指導等を一括受託し実施した。

受託金額 9,760,000 円

郵政受託事業に協力した計量士の数
協会職員（計量士）
延べ3人

令和4年度計量器検査の実績（代検査等）

法定検査	総台数	ばね式指示はかり	手動指示併用はかり	等比皿手動はかり	台手動はかり	皿手動はかり	電気式はかり	手動天びん	直示天びん	他の機械式はかり	分銅	おもり
検査台数	11700	3854	35	7	22	19	7360	0	0	0	239	164
合格台数	11594	3829	35	7	21	18	7281	0	0	0	239	164
不適台数	106	25	0	0	1	1	79	0	0	0	0	0
不適合率	0.91%	0.65%	0.00%	0.00%	4.55%	5.26%	1.07%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

適正計量管理事業所	総台数	ばね式指示はかり	手動指示併用はかり	等比皿手動はかり	台手動はかり	皿手動はかり	電気式はかり	手動天びん	直示天びん	他の機械式はかり	分銅	おもり
検査台数	341	52	0	0	0	0	289	0	0	0	0	0
合格台数	327	52	0	0	0	0	275	0	0	0	0	0
不適台数	14	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0
不適合率	4.11%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	4.84%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

計量証明検査	総台数	ばね式指示はかり	手動指示併用はかり	等比皿手動はかり	台手動はかり	皿手動はかり	電気式はかり	手動天びん	直示天びん	他の機械式はかり	分銅	おもり
検査台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合格台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不適台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不適合率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

自主検査	総台数	ばね式指示はかり	手動指示併用はかり	等比皿手動はかり	台手動はかり	皿手動はかり	電気式はかり	手動天びん	直示天びん	他の機械式はかり	分銅	おもり
検査台数	6243	236	0	2	1	39	3837	0	0	0	38	96
適正台数	6056	234	0	2	1	39	3705	0	0	0	38	96
不適台数	187	2	0	0	0	0	132	0	0	0	0	0
不適合率	3.00%	0.85%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	3.44%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

	ヘルスメーター	キッチンスケール	ペーパースケール	レタースケール
検査台数	796	1047	141	10
適正台数	783	1007	141	10
不適台数	13	40	0	0
不適合率	1.63%	3.82%	0.00%	0.00%

計量管理業務を実施した

計量士
計量担当職員

小林理生、大濱友章、坂井秀人、清水健富
永尾 風、須崎 治

令和4年度日本郵便(株)計量管理業務(総括表)

1. 検査年月日 2022年4月1日 ～ 2023年2月1日

2. 計量士 坂井秀人 ほか 2名

3. 計量法第19条第2項による検査成績

(1) 検査実施数 759 事業所 うち不適合数 11 事業所

(2) 検査成績(窓口用ばかり) (単位:個)

計量器の種類	合格	不適合(理由別)		計
		器差	構造	
電気抵抗線式	1,280	1	1	1,282
誘電式	0	0	0	0
ばね式	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	1,280	1	1	1,282

(3) 検査成績(集荷用ばかり) (単位:個)

計量器の種類	合格	不適合(理由別)		計
		器差	構造	
電気抵抗線式	972	2	18	992
誘電式	0	0	0	0
ばね式	10	0	0	10
合計	982	2	18	1,002

4. 自主検査用分銅の校正成績

(1) 校正実施数 事業所 簡易局SMG 名

(2) 校正成績 (単位:個)

種類	校正結果		計	不適合品の措置内訳	
	適合	不適合		調整後適合	廃棄
7.5kg			0		0
その他個別分銅			0		0
合計	0	0	0	0	0

(3) 校正方法 : 1. 現地校正 2. 集合方式

2. の場合の主な校正場所

5. 計量管理指導

(1) 実施した事業所及び簡易局SMGの合計

訪問事業所数(A)	簡易局SMG数(B)	うち指導対象外の数(C)	指導数(D) = (A) + (B) - (C)
754	0	9	745

(2) チェック項目のまとめ(事業所数)

項目	適切	改善指導	合計
① 主任の任命・引継ぎ等の状況	745	0	745
② 自主検査の実施状況	744	1	745
③ 自主検査成績表の記載・保管	744	1	745
④ はかりの設置・水平・零点	745	0	745
⑤ 自主検査用分銅の保管状況	745	0	745
⑥ その他			0

(3) 主な指導事項

自主検査メッセージ設定がなされているかの確認を徹底した。

(3) 東京都手数料等徴収事務の受託

計量法関係手数料等の収受が現金徴収となり、それに伴う表記事務を東京都計量検定所から受託し、都民、会員の利便性向上を図るとともに、東京都の収入確保に令和4年度も協力した。

受託金額 4,973,100 円

令和4年度手数料徴収事務実績

単位：円

	令和3年度		令和4年度	
	件数	手数料額	件数	手数料額
計量法関係手数料	8,984	97,166,620	9,131	90,012,230
受託検査関係手数料	63	1,881,826	68	1,445,416
東京都事務手数料	650	263,600	637	254,800
合計	9,697	99,312,046	9,836	91,712,446

(4) タクシーメーター装置検査場における検査補助業務受託

東京都から東京都計量検定所港南検査場、深川検査場におけるタクシーメーター装置検査業務の補助業務を受託している。

タクシーに設置されているタクシーメーターは毎年装置検査を受検する必要があり、港南、深川両検査場で年間46,000台前後の検査を行っている。

検査申請書類のチェック、タイヤ圧の事前チェック調整、誘導、検査用基準器の運転、検査装置の操作、データ取りなどの業務について検査補助業務を実施している。

受託金額 55,176,000 円

6. 計量業務に携わる者に対する講習会、研修会、見学会等の開催

令和4年度は次のとおり講習会を開催した。

適正計量管理主任者養成講習会の開催

<生産関係>

日時	令和4年7月8日(金) 13時30分～17時
場所	東京都計量検定所 2階会議室A
受講者数	18名(会員4社10名、非会員3社8名)
内容	①計量法と適正計量管理事業所制度 ②筆記試験及び講評 ③質量計(非自動はかり)の使用検査について

<流通関係>

日時	令和5年2月10日(金) 13時～15時
場所	東京都計量検定所 2階会議室A

- 受講者数 20名（会員5社13名、非会員4社7名）
内 容 ①計量法と適正計量管理事業所制度
②筆記試験及び講評
③商品量目制度を理解し運用するために

7. 講演会の開催

(1) (一社)計量器コンサルタント協会と共催で次のとおり講演会を開催した。

日 時 令和4年9月27日（火）13時30分～17時

場 所 ホテルグランドヒル市ヶ谷

テーマ1 「クボタが提案する省人省力製品と空気環境改善製品」

（株）クボタ計装 常務取締役営業本部長 小林 秀也様

テーマ2 「計量標準のこれまでとこれから」

～メートル条約の成立から国際相互承認、そしてDXへ～

産業技術総合研究所 計量標準総合センター長 白田 孝様

(2) 計量講演会の開催（東京計量士会と共催）

日 時 令和4年11月25日（金）13時30分～15時

場 所 東京都計量検定所

聴講者数 27名

テーマ 「自動はかり 最近の動向と検定について」

（株）インダ統括管理本部 指定検定機関設立PJリーダー

全国自動はかり検定（株）代表取締役 山本 浩之 氏

8. 計量に関する諸問題の調査、研究

- ① 関東甲信越計量団体連絡協議会、（一社）日本計量振興協会等を通じて業界意見の反映に努力した。
- ② 指定定期検査機関等連絡会議（東京都計量検定所、東京都計量協会）を通じ指定機関の運営等について年2回の協議を行った。
- ③ 関東甲信越地区計量団体連絡協議会事務局として10都県の計量団体との連携強化を図っている。
- ④ 団体会員である計量器コンサルタント協会の事務局業務を受託し、その活動を支援した。

9. 部会の開催

9-1. 計量管理研究部会

計量管理の推進により生産性、品質の向上及び量目取引等の適正化を図ることを目的に計量管理研究活動を行ってきたが、今年度では次の事業を実施した。

(1) 計量管理強調月間「標語」の募集及び入選作品の選定

応募数 4社、24点（応募各社内で事前選考いただいた）

入選作品数 4点（最優秀2点、佳作2点）

最優秀 日々の経済 支えます 暮らしの中の 適正計量 ㈱高島屋 総務部

明るい未来へ たゆまぬ管理 正しく量って 確かな信頼 ㈱高島屋 総務部

佳作 計量で未来に届けるプレゼント 実現しよう SDGs ㈱寺岡精工 環境事業部

お客様とのお約束 正しい計量 築く信頼 森永乳業㈱ 東京多摩工場

*最優秀2点は短冊にして、全会員へ配布した。

(2) 計量記念日 web2022「都民計量のひろば」への参加

開催日時 令和4年10月16日（日）～12月15日（木）

開催場所 (一社)東京都計量協会ホームページ内の特設コーナー

内容 計量マジックコーナーで「あなたの誕生日を当てます」を掲載

(3) 適正計量管理主任者養成講習会の開催

生産関係

日時 令和4年7月8日（金）13時30分～17時

場所 東京都計量検定所 2階会議室 A

受講者数 18名（会員4社10名、非会員3社8名）

*コロナ感染症を考慮し人数を制限して開催

内容 ①計量法と適正計量管理事業所制度

②筆記試験及び講評

③質量計（非自動はかり）の使用・検査について

流通関係

日時 令和5年2月10日（金）13時～15時

場所 東京都計量検定所 2階会議室 A

受講者数 20名（会員5社13名、非会員4社7名）

内容 ①計量法と適正計量管理事業所制度

②筆記試験及び講評

③商品量目制度を理解し運用するために

(4) 計量講演会の開催（東京計量士会と共催での開催）

日時 令和4年11月25日（金）13時30分～15時

場所 東京都計量検定所 2階会議室 A

聴講者数 27名

内容 自動はかり 最近の動向と検定について

㈱イシダ統括管理本部 指定検定機関設立PJリーダー
 全国自動はかり検定㈱ 代表取締役 山本 浩之 氏

(5) 東京都との意見交換会

日 時 令和5年3月3日(金) 15時～16時
 場 所 東京都計量検定所 2階 会議室A
 出席者 東京都 小池課長代理
 部会員 8名、事務局3名
 内 容 ①適正計量管理事業所の現状と今後について
 ②内容量表記と取引について

(6) 表彰関係

部会から次の方々を推薦し、表彰された。

表彰式(令和4年11月11日(金)於 ホテルグランドヒル市ヶ谷)

東京都計量協会会長賞 事業所の部 ゾンネボード製薬㈱

計量管理強調月間「標語」入選者4名

福地 しのぶ氏 ㈱高島屋 総務部法務リスクマネジメント室

恵田 豊氏 ㈱高島屋 総務部法務リスクマネジメント室

友澤 一成氏 ㈱寺岡精工 環境事業部

長谷部 桂氏 森永乳業㈱ 東京多摩工場製造部

(7) 部会員の動向

	R4年4月1日	R5年4月1日	増減
生産関係	16社	16社	
流通関係	10社	9社	△1
計	26社	25社	△1

(8) 部会役員

部会長 山本 浩之 ㈱イシダ
 副部会長 安齋 正一 (一社)東京都計量協会
 理事 渡邊 正一 ㈱オーバル
 理事 吉野 博 ㈱新興度量衡製作所
 理事 恵田 豊 ㈱高島屋
 理事 和田 俊之 ㈱寺岡精工
 理事 市村 玲 ㈱東急百貨店
 理事 秋山 真衣 森永乳業㈱
 理事 奥村 和代 ㈱三越伊勢丹ホールディングス
 監事 二宮 賢一 佐藤製薬㈱
 監事 早川 嘉一 ゾンネボード製薬㈱

(9) 部会決算（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

収入の部 単位：円

科目	決算額
前年度繰越金	471,792
都計協助成金	89,400
主任者養成講習会	0
その他	3
収入合計	561,196

支出の部 単位：円

科目	決算額
事業費	42,102
内訳	
講習会等	19,390
計量記念日事業	22,712
資料保存費	0
会議費	0
事務費	58,080
内訳	
印刷費	44,220
通信費	13,860
予備費	0
支出合計	100,182
収支差額/次年度繰越金	461,014

9-2. タクシーメーター部会

コロナ禍でしばらく開催できなかったタクシーメーター部会を令和4年度では、部会を2回、役員会を1回開催し、装置検査の検定等に係る情報交換、今後の活動計画等について検討を行った。

(1) 令和4～5年度の役員

部会長 三浦 敦 (株)ニシベ計器製造所
 副部会長 鈴木 文雄 日本自動車メーター(株)
 副部会長 中島 文博 二葉計器(株)
 幹事 木幡 俊哉 江東矢崎サービス(株)
 幹事 菅野 浩明 (有)山田計器製作所
 監査 江崎 純一朗 (株)岡部メーター商会

(2) 検定数の推移とコロナ禍におけるタクシー業界の動向についての情報交換。

(3) 部会のネットワークを利用してタクシーメーター検査に係る情報共有を図る。

- ・適正な計量とその安全の確保
- ・部会員の共通する諸課題への対応
- ・計量行政への寄与

(4) 東京都計量検定所との装置検査に係る情報交換、改正受験票の変更概要についての意見交換。

10. 関東甲信越計量団体連絡協議会について

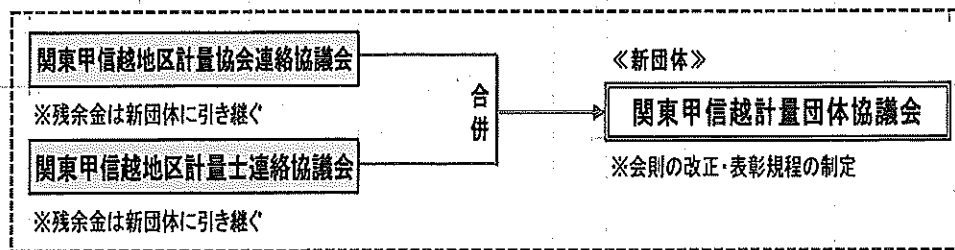
関東甲信越計量団体連絡協議会（以下、関プロという）は、各都県が抱える計量に関する諸問題について情報交換、研究協議を行い、課題解決に努めるとともに、会員相互の親睦を図ることを目的に、各県持ち回りで活動を行ってきた。

都計協は小川会長が関プロの会長に就任し、また、事務局業務を引き受けるなど、当事業活動に積極的に参加している。

令和4年度の活動は次のとおりである。

(1) 組織の改編について

関プロはこれまで「計量協会連絡協議会」と「計量士連絡協議会」を合同で行ってきたが、会員間の情報交換や共通する課題の解決、さらには会員同士の交流を深め計量業界の課題解決、振興発展を図ることを目的に代表者会議で改編作業が進められ、令和4年7月1日付で合併し「関東甲信越計量団体連絡協議会」として活動を行っていくことが決議された。



(2) 新団体の会員構成及び代表者

構成団体名	代 表	代 表
(一社) 茨城県計量協会	会長 佐藤 正	副会長 鈴木 正美
(一社) 埼玉県計量協会	会長 金井 一榮	副会長・計量士部会長 恵田 豊
長野県計量協会	会長 長坂 宏	計量士部会長 新貝 和雄
(一社) 千葉県計量協会	会長 瀬口 力也	計量士部会長 鶴岡 賢一
(一社) 新潟県計量協会	会長 大平 岳男	副会長・計量士部会長 島田 茂和
(一社) 東京都計量協会	会長 小川 弘	副会長 横山 守二
東京計量士会	会長 小林 悌二	事務局長 檜林 功
(公社) 神奈川県計量協会	会長 谷本 淳	専務理事 橋本 千晴
神奈川県計量士会	会長 児玉 充弘	副会長 小林 勇
(一社) 山梨県計量協会	会長 川島 英一	専務理事 清水 康人
(一社) 山梨県計量士会	会長 清水 健次	専務理事 清水 康人
栃木県計量協会	会長 崎尾 肇	計量士部会長 亀山 崇
(一社) 群馬県計量協会	会長 横田 貞一	計量士部会長 笹尾 利昭

(3) 役員

会 長 小川 弘 一般社団法人 東京都計量協会 会長
副会長 横田 貞一 一般社団法人 群馬県計量協会 会長
監 事 佐藤 正 一般社団法人 茨城県計量協会 会長
監 事 長坂 宏 長野県計量協会 会長
関ブロ事務局 一般社団法人 東京都計量協会

(4) さいたま大会の開催

関ブロ大会が埼玉県を当番に3年ぶりに開催された。

開催期日 10月28日(金) 13時40分～19時40分

開催場所 ホテルブリランテ武蔵野(さいたま市)

次 第 新団体設立宣言 小川 弘 関東甲信越計量団体連絡協議会会長
開催県あいさつ 金井一榮 (一社)埼玉県計量協会会長
来賓祝辞

高柳 三郎様 埼玉県副知事(埼玉県知事の代理)

大崎 美洋様 経済産業省産業技術環境局計量行政室 室長

竹歳 尚之様 産業技術総合研究所 計量標準普及センター長

来賓紹介

運営委員会報告 大平 岳男 (一社)新潟県計量協会会長

議事 1. 会務・会計報告及び会計監査報告

2. 提案議題の審議(一般計量士の育成について)

各県状況報告(群馬県、新潟県、山梨県)

3. 提案議題の取りまとめと講評

4. 指定検定機関からの現況報告

5. 次回開催県あいさつ(長野県計量協会 長坂会長)

感謝状受賞者(12名) / 敬称略

荒井 良明 長野県計量協会

惠藤 敏郎 一般社団法人 千葉県計量協会

鶴見 昭治 一般社団法人 千葉県計量協会

清宮 貞雄 一般社団法人 東京都計量協会

林 博樹 公益社団法人 神奈川県計量協会

大黒 常雄 公益社団法人 神奈川県計量協会

佐藤 竹一郎 神奈川県計量士会

清水 健次 一般社団法人 山梨県計量協会

笹尾 利昭 一般社団法人 群馬県計量協会

戸田 哲夫 一般社団法人 茨城県計量協会

寺田 三郎 一般社団法人 埼玉県計量協会

佐藤 哲 一般社団法人 埼玉県計量協会

記念講演 「渋沢栄一の近代産業育成～「忠恕」と「公益」～」
 講師 渋沢栄一記念館 解説員 河田 重三様

懇親会

出席者 130名

来賓 19名
 指定検定機関 5名
 会員 106名

都県別出席状況

団体名	出席者
茨城県計量協会	10
埼玉県計量協会	25
長野県計量協会	8
千葉県計量協会	9
新潟県計量協会	4
東京都計量協会	18
東京計量士会	8
神奈川県計量協会	7
神奈川県計量士会	6
山梨県計量協会	2
山梨県計量士会	0
栃木県計量協会	3
群馬県計量協会	6
計	106

1.1. 計量関係功労者の表彰並びに表彰候補者の推薦

令和4年度の本会よりの候補者推薦による受賞者は以下のとおりであった。

経済産業省関係

受賞式 令和4年11月1日(火)

場所 ホテルインターコンチネンタル東京ベイ

大臣表彰 (計量関係功労者)	安齋 正一様	(一社)東京都計量協会 豊洲市場担当
産業技術環境局長表彰 (計量制度運営等貢献者)	小林 理生様	(一社)東京都計量協会 計量管理部部長

東京都関係

功労者表彰

令和4年10月3日(月) 東京都庁大会議室	大森 規雄様	共栄衡器(株) 代表取締役社長 (一社)東京都計量協会 理事 全国計量器販売事業者連合会 会長 (一社)計量器コンサルタント協会 専務理事
--------------------------	--------	--

東京都生活文化スポーツ局長感謝状

<p>令和4年11月11日(金) ホテルグランドヒル市ヶ谷</p>	<p>須藤 恵美子様 増山 隆一様 横田 賢亮様</p>	<p>(株)吉野計測 取締役 (一社)東京都計量協会 指定定期検査機関部課長 (株)横田計器製作所 代表取締役社長 (一社)東京都計量協会 理事 日本硝子計量器工業協同組合 理事</p>
---------------------------------------	--------------------------------------	---

12. その他、協会の目的を達成するために必要な事項

事務所並びに事務局の状況

① 事務所 東京都江東区新砂三丁目3番41号 東京都計量検定所庁舎2階
面積 39.6平方メートル

② 事務局役職員 40名

③ 役職員名

堀井 茂	伊藤 信男	飯田 麻里子	高木 美穂	高城 実可
永井 洋文	荒川 敬之	岩瀬 広和	大濱 友章	清水 健富
高橋 正樹	千葉 秀樹	峯岸 輝夫	竹内 辰也	古橋 幸二
齋藤 尚貴	古賀 一彦	小林 理生	増山 隆一	坂井 秀人
出崎 隆	永尾 風	佐藤 亨	上杉 健二	須崎 治
安齋 正一	本郷 隆治			
山下 規夫	磯 正彦	照井 誠	五味 智紀	長沼 正信
飯出 昭典	尾崎 信之	佐々木正則	寺田 由幸	千葉 勉
立花 昭博	工藤 正人	二村 政彦		